



## なんでもチャレンジさせてくれる社風に支えられて。

JAC グループ50周年をたくさんの仲間とともに迎えることができ、とても幸せに思います。私が大阪支店に入社したのは1995年12月。当時は机が6席とその隣に小さな面談室が3つのオフィスで、東京とあわせても社員はまだ15名程度の会社でした。それがいまや2フロア、270名の仲間が集う支店となっています。その後、コンサルタントが増えてきた際には、登録者獲得のため、初となる転職フェアも開催しました。みんなでチラシを配ったりオフィス内を改造したり、手作りでイベントを運営したことは良い思い出です。そういう

たことができたのも、「ダメなことは法を犯すこと。それ以外は何でもチャレンジ!」というMr. & Mrs. 田崎からのメッセージとFreedom & Disciplineにいつも背中を押してもらってきたからです。

会社の歴史の中で、ときには大きな困難もありましたが、私たちはしなやかに乗り越え、この節目を迎えることができました。今までの道をともに切り拓いてくれた仲間に感謝し、これからも人と人とのつながりを大事にしながら、次の節目に向かって歩んでいきましょう!

## Freedom & Disciplineの理念に深く共感して。

JAC グループの50周年を心よりお祝い申し上げます。私のJACでの勤務は来馬後もなく(1997年)から始まり、現時点で27年を超えました。この長い間には数えきれないほどの出会いや思い出があり、JACでの経験は私の人生において非常に重要なものとなっています。私がJACで勤務し続けてこられた理由は、「Freedom & Discipline」と「愛」という2つの言葉に集約されます。まずFreedom & Disciplineについてですが、私は育った環境(家庭や通った高校)から「自由には必ず自己責任と規律が伴う」という考え方を元々持っており、JACの理念には共感する部分が多いのです。また、JAC

にはMr. & Mrs. 田崎をはじめ、愛に溢れた素晴らしい人々が多く、他国の方々とともに働く中で、愛と尊敬の精神が根付いていることを実感しました。

27年間の勤務を通じて、多くの国籍や文化背景を持つ同僚とともに働く機会に恵まれ、この中で異なる視点や価値観を学び、成長することができました。JACの多様性と包容力は、私たちがひとつのチームとして協力し合い、ともに成功を収めるための基盤となっています。

50周年という大きな節目にJACで勤務できたことを誇りに思うとともに、今後のグループのさらなる発展と継続を心から願っております。



桐生 純子  
Junko Kiryu  
JAC Recruitment Malaysia  
Associate Director

## 叱責ではなく、見守っていただいた日々に感謝。

50年の歴史のちょうど半分となる25年間JACに在籍しています。最も印象深いのは海外進出支援室を立ち上げたときのこと。リーマン・ショックの影響がまだ色濃く残る2011年、私は大阪エグゼクティブチームのマネージャーとして、全社の方針を無視した勝手な方針を打ち立てます。それは「海外進出を行う製造業」「海外子会社経営の経験をもつエグゼクティブ」に絞って営業を行う、というものでした。

個別企業へのアプローチとは別に、金融機関や自治体といった企業の海外進出を支援する機関との連携をはじめ、これが後の海外進出支援室としての活動の原型となります。

しかしこれらの活動に即効性はなく、チームの売上は停滞したままでした。ある日、エグゼクティブ部門を統括していた社長の松園健さんに呼ばれ、強い叱責を覚悟で臨んだ私に対してかけられたのは、意外にも「それが好きならそれを専門にやってみろ」という言葉でした。

あのとき、方針を無視し、業績もあげることができない私に対する苦言や怒声を飲み込み、あえて前向きな言葉で再出発を促してくれた松園さんの言葉は、その後長く私の支えになっています。支援室では海外拠点との実務上のつながりも多く、それは間違いなくいまのポストに就くきっかけとなっています。

## これまでこれからも、変化を恐れず、機会と捉えて。

2000年10月に入社し、今年で25年目(人生100歳として4半期)を迎えてます。Mr. & Mrs. 田崎が50年前にこのグループを誕生させた理由を振り返ってみると実に感慨深く思います。ケンブリッジ大学卒業後、英国に住む日本人コミュニティに何ができるかを考えたミスター。誰だって日本食が欲しいよね。そんな気づきから日本食輸入のTazaki Foods社が誕生! 英国で住む場所がいるよね。不動産賃貸業務のJAC Strattonsが誕生! 生きていくのに仕事がいるよね。人材紹介会社のJAC Recruitment UK誕生! そして

今までにJAC Recruitment Japanを設立し、アジアのみならずドイツ、米国にまで進出。国際的レベルに急成長しているJAC グループ! まさに誇りです。

私の在籍中にもいろいろなことがありました。リーマン・ショック、Brexit (EU離脱)、戦争を知らずに育った時代にウクライナ戦争、そしてパンデミック。でもミスターがいつも力説していた「Change is opportunity!」、変化を恐れず、変化を機会に変えていくポジティブな姿勢とズームアウトに私は大賛成です! 50周年おめでとうございます!!



佐原 賢治  
Kenji Sahara  
JAC Recruitment Indonesia  
Managing Director



## ひとつとして同じ案件はないという気持ちを大切に。

「これがJACのFreedom & Disciplineです田崎」。2003年10月1日の内定式を経て、入社前の最初の課題図書として、Mr. 田崎の直筆コメント入りの『自由と規律(池田潔著)』をいただきました。当時は、JASDAQへのIPOを目指し、拡大に舵を切ったタイミング。Win-Win-Win/Triple Winというビジネスモデルに共感し、会社と自身の成長を重ね合わせられると考え、成果主義を謳っていたJACの門戸を叩きました。配属先の金融チーム(後に社内で最初の部に昇格)では、同期4人に対してパソコンは2台、毎週月曜日の朝会は東京本社全員で成約発表を行うほどの規模でした。



重國 泰生  
Yasuki Shigekuni  
JAC Recruitment  
エグゼクティブ  
サーチディビジョン  
エグゼクティブサーチチーム  
シニアプリンシパル

## 日本に貢献できる仕事に出会えたことに感謝!

2006年、35歳の時に入社し、19年目を迎えます。最初はサービスディビジョンに配属され、チームメンバーは私以外全員新卒1~4年目。想定とは異なる環境に戸惑う私を見て、周囲からはすぐに退職すると思われていたため、辞めなかつた時にメンバーから「奇跡の人」と呼ばされました。毎日忙しく新規開拓をしていて、週末は自宅でメンバー全員が泊まりにきたことを、いまも鮮明に覚えています。

リーマン・ショックで状況が一変し、苦しい状況を経験しましたが、当時社長の松園さんの陣頭指揮の下、JAC Recruitmentが両面型や専門性強化、高額化に注力し、

生産性が非常に上がり、顧客からの評価が随分高まって乗り切ったことをいま実感し、感謝しています。

2017年よりエグゼクティブディビジョンに異動し、今年4月、私が転職をお手伝いした方が、プライム上場企業の社長にご就任が決まりました。真に日本経済にインパクトを与える仕事になったなと感慨深く、不優秀ながらもこの仕事に向き合い続けてきたことのご褒美だとうれしく思います。Mr. & Mrs. 田崎にJACのメンバーとして加えていただき、いま素晴らしい仕事ができていることに心から感謝しています。

福田 朝子  
Asako Fukuda  
JAC Recruitment  
エグゼクティブディビジョン  
コンシューマーグッズ&  
サービス第2チーム  
ブレイングマネージャー



## 誰もが幸せになれるビジネスモデルに共感。

JACの50周年に際し、この素晴らしいフィールドを築き上げてこられたMr. & Mrs. 田崎に心から感謝を申し上げます。そして2004年にJACへの入社を決断した当時の自分に「ナイス!」と言いたいです。私がJACを大好きな理由は大きく3つ。①幸せを生み出すビジネスモデル、②「自由と規律」が根付く風土、③みんなで大きな目標に挑めるやりがいです。

前職では会社から期待される行動と顧客への貢献が合致せず、仕事のやりがいを感じきれずにいました。自身が転職を考えたときに人材紹介というビジネスを知り、顧客への貢献(採用の成功)・会社の期待(成

約目標の達成)・登録者の喜び(転職の成功)、全てが矛盾なく実現できる最高のビジネスモデルだと感じました。人材紹介に魅力を感じる中で、JACが掲げる「自由と規律」というフィロソフィーが、自分が理想とする仕事のスタイルを究極に簡潔に示す表現だと感銘を受け、入社を決断しました。入社前に感じたビジネスと企業風土の魅力を、入社後は想像以上に体感できているからこそ、私は20年以上もJACで楽しく働けています。その土台の上で、プロ意識が高く人柄もリスクペクトできる仲間と世界No. 1という大きな目標に挑める。最高過ぎる! JAC、ありがとうございます!!



富永 暢昭  
Nobuaki Tominaga  
JAC Recruitment  
エグゼクティブ  
サーチディビジョン  
エグゼクティブサーチチーム  
シニアプリンシパル



Yong Sue Sin  
JAC Recruitment Malaysia  
Johor Branch Manager

## いま胸の中にあるのは、たくさんの人々への感謝。

2007年にMr. & Mrs. 田崎がジョホールオフィスを訪れ、私は初めて2人に会うことができました。創業者とCEOがこのような小さな支店を訪問するのは非常に珍しいと思っていたので、とても感動しました。特に、ミセスが激励の気持ちを込めて、輝いた目で直接、私たちに語りかけてくれたことで嬉しく思い、JACに入社して正解だったと感じました。

私は自分たちのこれまでを振り返り、入社したときから今日まで、支えてくれているクライアントに感謝しています。また、この仕事に携わるきっかけを与えてくれた最初のMDである、大西康生さんにもとても感謝してい

ます。林さんと大西信彰さんという2人の素晴らしいMDにも恵まれました。2人が私を信頼して惜しみないサポートをしてくださったことで、私は支店マネージャーに昇進し、Best Consultantを受賞することができました。

最後になりましたが、JACマレーシアの最も重要な要素は、人とチームワークです。桐生さん、Wendyさん、Oliviaさん、Sawさんなど、メンターと呼べる方々に出会い、今まで過ごしてこられたことは幸運でした。このJACの精神は、私が毎日大切にし、チームメンバーに伝えているものです。ここで長期的なキャリアを築く機会を与えてくれたJACに感謝します。

Saw Seow Peng  
JAC Recruitment Malaysia  
Corporate Services Team  
Senior Principal Consultant



## こんなに厳しく、崇高な理念を掲げる会社はほかにない。

亡き父とは、大人になってからよくビジネスや組織論の話をしました。彼は歴史が好きで、実家の本棚には司馬遼太郎の著書や三国志、孫子などが並んでいました。転職する時に相談したし、マネージャーとして行き詰った時にもアドバイスを求めたが、そんな彼に「良い会社ってなんだろうね」と漠然とした質問をしたことがあります。彼は少し考えて、「明確な理念を持つ会社かな」と言つた。そのとき私はなるほど自分の目は正しかった、うちの理念は超一流、比類ないわとにんまりました。



西之原 智子  
Tomoko Nishinohara  
JAC International  
Core Enterprise Services Division  
シニアコンサルタント

## ここ以上のチームには、きっと出会えない。

日本企業への就職を志していた私は、日本語能力試験(JLPT)N3認定を取得後、リクルートメントコンサルタントに応募し、2003年にJAC Recruitment Malaysiaでキャリアをスタートさせました。以来、金融サービス業界を専門とし、C-Suite(経営幹部)、上級管理職、役員層の転職を数多く支援してきました。また、その過程でBest Team、Best Division、Best Consultant、Outstanding Consultantなど、さまざまな賞を受賞しました。

JAC在籍中に最も印象に残っているエピソードは、2021年に3ヵ月連続で売上ゼロを経験したことです。思うように成果が出ず、成約に至らないケースが続きました。パン

デミックも重なり、採用活動が完全に停滞してしまった時期でした。それでも私は、前向きな姿勢を保ち、困難を乗り越える粘り強さ、そして挫折から立ち直る力を維持することこそが、私たちの仕事には不可欠な資質だと確信して取り組みました。その結果、売上ゼロから年間最優秀コンサルタントに選ばれ、500+ Clubの会員になることができました。まさにジェットコースターのような1年でした。JAC Malaysiaでの素晴らしい20年間、特に最も困難な時期には、経営陣とチームメンバーからかけがえのないサポートを受けました。私はJAC Malaysiaが大好きで、これ以上のチームは他にはないと思っています。

## くつろいだ食卓で感じた、お二人の人柄と大きな愛。

私が新任マネージャーだった20年近く前の話ですが、Mr. & Mrs. 田崎のご自宅にお邪魔したことがあります。「私たちには子どもがいないから、あなたたちが大切な子ども、ゆっくりしていきなさい」と仰っていただき、お二人の全てが真実で、物事を大切にされ、誰に対しても理解と敬意を持ち、大きな愛で接し、思いを行動にされているからだと思います。あれから十数年、JACは成長を続けていますが、これからもファミリーである社員たちを大切にしながら、成長の輪が世界中に広がり、事業を通じて社会貢献できると思うと、とても誇らしく、わくわくしています。JACを創業してくださり、感謝しています。



海老 純代  
Sumiyo Ebi  
名古屋支店  
名古屋第1ディビジョン  
エグゼクティブチーム  
シニアプリンシパル



Olivia Hussy  
JAC Recruitment Indonesia  
Director

## クライアントからの信頼が、前に進む力になる。

JACに入社して9年間、この仕事で最も喜びを感じるのは、クライアント企業が私や私のチームに対して厚い信頼を寄せてください、ほかの企業にも紹介してください。お手伝いしたキャンディディートの方々からお礼のカードやメールをいただくことにも、大変やりがいを感じます。

仕事では、上司から大きな影響を受けました。大西さんからは「あなたの頭の中には、候補者データベースがある」と評価をいただきました。また、Mrs. 田崎からの「鉄は熱いうちに打て」というアドバイスからは、あらゆる機会や好機を逃さず、チャンスをつかみ取ることの大切さを教わりました。

忘れられない出来事としては、クライアントである日系製造業のグランドオープンに採用パートナーとして唯一招待され、その採用活動をさせていただいたことです。また、私のチームメンバーが100+ Clubのメンバーになつたことも特別な思い出です。権威ある100+ Clubに入会することは名誉なことでしたし、チームの功績を表彰され、みんなでお祝いしたことも忘れられません。

JACのフィロソフィー、スペシャリスト・コンサルタントのアプローチ、品質重視の仕事、これらすべてが、いつも私にインスピレーションを与えてくれます。